

産業応用フォーラム

「保全分野におけるプロアクティブ手法の活用」

概要：工場電気設備の保全に関する技術動向の把握や関連技術の一層の向上を図ることを目的として、産業応用部門ものづくり技術委員会の傘下に「工場電気設備におけるプロアクティブ保全技術調査専門委員会（以下、ZPC）」（設置期間：2012年4月～2016年12月）を設置して調査活動を行い、その調査結果を技術報告書にまとめました。ZPCでは、工場電気設備の保全技術を故障の予防のみに留まらず、設備診断・余寿命推定を経て更新までをも包含する総合技術と捉え、その進め方にプロアクティブ手法を導入することを提案しました。これは、工場電気設備を構成する各機器の劣化進行過程に着目し、その要因を軽減する施策により、当該機器の寿命延伸を図るとともに、設備更新計画立案に幅広い自由度をもたらし、合理的な保全・更新の実現への寄与を意図するものです。

本フォーラムは、工場電気設備へのプロアクティブ手法の活用について、ZPCのメンバーが同技術に関心のある電気設備技術者、研究者、学生の皆様を広く対象として解説致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2019年5月30日（木）13:00～17:00

会場：電気学会 第1～4会議室（東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZONビル8階 TEL: 03-3221-7312）
JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩2分
<http://iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

プログラム：

- 13:00～13:05 開会、主催者挨拶
 - 13:05～13:10 プログラム紹介、スケジュール説明 清水 博幸（日本工業大学）
 - I. 総論
 - 13:10～13:40 保全分野におけるプロアクティブ手法 西村 誠介（横浜国立大学）
 - II. 各機種のプロアクティブ手法の例
 - 13:40～14:10 回転機におけるプロアクティブ手法 江藤 計介（出光興産）、河村 寿仁（中山名古屋共同発電）
 - 14:10～14:40 変圧器におけるプロアクティブ手法 宮本 泰伸（TMEIC）、中原 良浩（日新電機）
休憩
 - 14:50～15:20 遮断器におけるプロアクティブ手法 桐生 一志（明電エンジニアリング）、伊原 秀樹（明電舎）
 - 15:20～15:50 蓄電池におけるプロアクティブ手法 蒲 新太郎（GSユアサ）、犬島 浩（早稲田大学大学院）
 - 15:50～16:20 ケーブルにおけるプロアクティブ手法 大高 巖（フジクラエンジニアリング）
 - III. プロアクティブ手法をより効果的に進めるために
 - 16:20～16:50 プロアクティブ手法をより効果的に進めるために 山下 泉（TMEIC）、占部 昇（富士電機）
 - 16:50～17:00 全体の質疑応答
- 司会進行：占部 昇（富士電機）、清水 博幸（日本工業大学）

テキスト：電気学会技術報告第1424号「工場電気設備保全へのプロアクティブ手法の活用」をテキストとして使用します。下記の参加費には、テキスト一冊が含まれています。追加テキストをご入用の場合には、特別価格（会員：¥2,900、一般：¥4,000）で頒布しますので、お申し込み時に追加テキストの数を記載ください。

参加費： 会員(正員) ¥5,000- (不課税) 非会員(一般) ¥7,000- (税込)
会員(准・学生員) ¥3,000- (不課税) 非会員(学生) ¥4,000- (税込)

申込方法：下記いずれかの方法より、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メールでのお申込み：「保全分野におけるプロアクティブ手法の活用」参加申し込み」と題記し、会員／非会員の別、氏名、所属、連絡先（住所、電話、電子メール）テキストの要・不要の別をご記入の上、5月20日(月)までに下記へお申し込みください（定員50名に達し次第、締め切らせていただきます）。

日本工業大学 清水 博幸、e-mail: [shimizu\(at\)nit.ac.jp](mailto:shimizu(at)nit.ac.jp)

参加費支払い方法：参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催：電気学会産業応用部門ものづくり技術委員会 委員長：南方 英明
（工場電気設備におけるプロアクティブ保全技術調査専門委員会 委員長：西村 誠介）